



## 紙上ギャラリー

### 皆既月食 (合成処理)

昨年10月8日、全国で見ることができた皆既月食です。晴天に恵まれ、ほぼ全過程の写真を撮ることができました。月食の際には、地球の影が月を覆うように移動していくため、連続して撮影すると地球の輪郭が月にかかっているのがわかります。今回は、月の右下に天王星も写っています。次回日本で見られる皆既月食は3年先です

撮影／岡村龍一郎 (小野市)



## 当組合リネンサプライ事業の現在

理事 神尾 守房

神戸医師協同組合リネン部の現在の活動状況を簡単にご報告申し上げます。

平成26年度リネン販売は、前年度実績の約20%減少で、粗利も対前年比82%止まりでした。消費税増税による影響があると思われます。

寝具リースとして、病院・医院・施設（介護施設等）の入院・入所者の布団類、リネン類を洗濯付きでリースする事業を行っています。得意先別件数は病院84件、医院161件、施設121件の合計366件と取引させていただいております。

寝具以外のリース（医療機関、介護施設の白衣など職員ユニフォーム、カーテン、マット、洗えるマット、褥瘡マット、肌着、パジャマ、ドライタオル、ウェットタオル、ベッドカバー等）、患者の病衣などの取引先が461件、合計827件のお得意様と取引を行っております。

平成22年12月、神戸市民と小児科医たちが開設を待ち望んでいた神戸こども初期急病センターが、神戸市中央区脇浜で開院、診療を始めました。神戸医師協同組合は、小児救急医療をお手伝いして、開設時から感染症対策を十分行った寝具、白衣、タオル、カーテンなどを小児救急医療団に提供させていただいております。

このこども急病センターの運営には、神戸市・神戸市医師会・神戸市小児科医会、神戸大学医学部小児科の全面的な協力があり、開設から現在まで市民たちの確たる信頼を受け、順調に運営されています。

年間の受診者は2～3万人と多数の病気の子供たちが受診しています。特にお正月の期間はインフルエンザのシーズンでもあり、1日3,000～4,000人という多数の子供たちが受診されており、この間の大量のリネン類もしっかりとご提供させていただいております。

平成25年に関連会社の神医協興産（株）が神戸市東灘区深江浜町に移転、最新の設備を備えた新工場が稼働を始め、業務の提携によりリネン部の活動は一段と充実してきております。

今後の課題として、更に取引先を増やす努力を続けていくと共に、明石事業所リネン工場の老朽化したエネルギー機器（ボイラー、コンプレッサー、エアコン、照明等）を更新し、合理化を進める必要があります。このため、経済産業省の平成27年度エネルギー使用合理化等事業者支援補助金の活用を考えております。

今後、職員一同と共にリネン部の発展に努力し、ユーザーの皆様のお役に立てるよう、努力していく所存です。